

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

第17期 通常総会

議案書

開催日時 2023年6月3日(土) 午後1時30分

開催場所 大阪ボランティア協会 大会議室

通常総会議事次第

- 1 開会
- 2 挨拶
 - 1) 理事長挨拶
 - 2) 来賓挨拶
- 3 議長選任
- 4 議長就任挨拶と議事進行
 - 1) 会議成立要件の確認
 - 2) 議事録署名人の選任
 - 3) 議案審議
 - 第1号議案 第17期事業報告承認の件
 - 第2号議案 第17期活動計算書報告と監査報告承認の件
 - 第3号議案 役員選任（案）の件
 - 第4号議案 第18期事業計画（案）の件
 - 第5号議案 第18期活動計算書予算（案）の件
- 5 議長解任
- 6 閉会

第1号議案 第17期事業報告

I. 第17期事業 総括報告

第17期も新型コロナウイルス感染症の影響は受けながらも行動制限が緩和され徐々に我々の活動も正常化に向かいました。一方国際情勢はと見ればロシアによるウクライナ侵略、ミャンマー国軍クーデターから続く圧政など不条理な事柄が今も世界のどこかで起こっている状況です。日本も又、近隣の危険な国家の脅威にさらされ厳しい状況におかれています。

そんな中、当法人も多文化共生社会の実現という目標を掲げ様々な活動を行いました。一つは事務所のある大阪市教育会館の中の障がい者就労支援施設との交流会を実施しハンディキャップを背負っていながらも元気に生活する若者達との交流を図りました。

また2025年の大阪・関西万国博の機運醸成活動ということで万博共創チャレンジチームに登録し活動を開始しました。万博協会の認定を貰って訪日観光客や在日外国人に対して「幸せの星」のプレゼント活動を進行中です。様々な団体、関係団体とのコラボでプロジェクトが動き出しています。

またそれぞれの事業部におきましては、従来の活動に戻りつつある中で、いろいろ工夫を凝らした活動を実施いたしました。

おもしろ算数教室事業部におきましては、大阪よみうり文化センターでの講座が定着化しつつあります。講師も複数であり、多方面からの要望にも応えられる体制です。

おもちや学校は3期生を送り出し、新たに13名の方が当法人の会員になって頂き一緒に活動する事になりました。

国際交流事業部につきましてはコロナ禍の中で始めた海外日本語学校とのオンライン交流を継続いたしました。また大阪日本語教育センターに来ている留学生の方ともオンライン交流を実施しております。またインドネシアからの介護実習生とのオンライン交流も実施いたしました。

活動を財務面で表す決算内容では今期も繰越金を増やす事ができました。寄付金が大きく増えた事が要因となっております。今後も一般市民の方に対して活動の共感を持って貰える広報活動を充実させ、寄付が集まるようにしたいと思います。

他団体との連携につきましては、大阪府SA連協に加盟した事で他の地区SAとも一緒になって活動できる体制を作りたいと考えています。

II 事業部 活動報告

1、伝承おもちやづくり府民塾事業部 活動報告

「新型コロナウイルス感染」が少し収まりかけているが油断をしないように活動する事を心掛けての一年間でした。

- ① 四天王寺「わか市」 月に1回第1日曜日 参加回数 7回。「わか市」は、6月 9月 10月 11月 12月 2月 3月と開催。コロナ以前の活動に戻りつつ有りますが、子どもさんやシニアとの「濃厚接触」が懸念されるため その対応策を講じながらの開催でした。おもちやを作り遊ぶことは子どもさん親御さんたちにとっても大切であり情操教育に役立つことだと実感しました。
- ② 「おもちやづくり教室」 隔月第3火曜日 実施 6回 (大阪中央区民センターにて)
「新型コロナウイルス感染」を懸念しながらの、年6回(5月 7月 9月 11月 4年1月 3月)の

開催となりました。講師側、受講生ともシニアが多く、また、府内各地からの参加で外出による感染懸念を考慮し大事をとりました。教室で皆さんの笑顔が、あかるく素敵でした。

- ③ NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への指導 実施1校 (天王寺区民カレッジにて)。
- ④ 今年度は1校でしたが、とても活発な皆さんで 用意していた作品は易しくて早く終了したことを踏まえて下準備を何処までするか難しい事だと考えさせられました。

2、おもしろ算数教室事業部 活動報告

今年度は、大阪読売文化センターからの依頼による講座として、松原テラスと、LIC はびきのでの活動が多くなりましたが、いずれも参加者の方々は「算数パズル難しいものもあったが、楽しかった」と仰っておられました。

LIC はびきのでは、「楽しいから、次回の募集での参加申し込みの勧誘をした」という方や「誘ってもらって良かった。楽しい」と、賑やかにおしゃべりが続きます。

松原テラスでは、来年度4月からの募集が無くなってしまいました。「どうすれば再開してもらえるか」と、スタッフに掛け合っている受講者の姿が見られました。

楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」に取り組む事によって、脳を活性化することが出来ます。

現在は、パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動は、なかなか困難です。しかし、相変わらず「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。そこで、パズル体験が以前のように再開できるようになった時には、現在、参加には、大きい溝となっている「参加すると頭をはかられる」感覚を除き、又は小さくするための工夫が求められています。

人気の「清少納言知恵の板」に、現在は、新しい「ユークリッド知恵の板」をサポートの方と協同で作成できました。これらの知恵の板が非常に人気です。

3、国際交流事業部 活動報告

2022年度の活動もコロナ禍の中、対面活動が難しい中での実施でした。

この様な状況のもと、コロナの影響を受けないオンラインによる海外との交流、日本に来日中の留学生等々とのオンライン交流を行いました。

また、海外産業人材育成協会とはインドネシアからの介護士候補者と、日本語会話練習会を授業として採用いただき実施しました。

①ミャンマー日本語学校(ヤンゴン)とのZOOM交流活動

・名称 : 「日本語で話そう」交流会

・活動日 : 毎週水曜日 16:30~17:30 (現地時間 14:00~15:00)

第7クール 2022年4月20日~6月29日 計10回

第8クール 2022年7月20日~9月28日 計9回

第9クール 2022年11月9日~2023年1月25日 計9回

第10クール 2023年3月1日~3月5日 計5回

各回 日本人メンバー 6名、ミャンマー側 6名~10名、コーディネーター1名

・交流内容 : 毎回のテーマに沿って最初の20分を参加者が1分程度話し、その後グループに分かれ其々が話す。最終の10分程度をグループでの話した内容の報告にする。

②トルコ・アンカラ土日基金友好協会・日本語教室とのZOOM交流活動

- ・名 称 : 「日本語で話そう」交流会
- ・活 動 日 : 毎週日曜日 16:30~17:30 (現地時間 10:30~11:30)
2022年6月5日~6月26日 計4回
各回 日本人メンバー 10名(内、SA吹田4名)、トルコ側 6名~10名
2022年5月8日 今後の打ち合わせミーティング
- ・交流内容 : 毎回のテーマに沿って全体交流、グループに分かれての交流を計1時間行なう。

③トルコ・イスタンブール生涯学習センター日本語教室とのTEAMS交流活動

- ・名 称 : 「日本語で話そう」交流会(先方の授業として開催)
- ・活 動 日 : 毎週土曜日 16:30~18:00 (現地時間 10:30~12:00)
第4クール 2022年5月21日~7月2日 計7回
各回 日本人メンバー 13名、トルコ側 13名(登録制度で実施)
- ・交流内容 : トルコ側が各回のテーマについて事前勉強の上グループに分かれて交流プレゼン。
日本側もトルコの様々な文化、風習他を知る事ができ有意義な交流会。

④海外産業人材育成協会・介護士候補者とのZOOM交流活動

- ・名 称 : 「日本語会話練習」交流会
- ・活 動 日 : 第1回 2022年10月14日 Mクラス
第2回 2022年10月28日 Nクラス
第3回 2022年11月17日 Rクラス
第4回 2022年11月24日 Dクラス
各回 日本人メンバー5~8名、介護士候補者12~18名(授業として実施)
- ・交流内容 : インドネシアから来日の介護士候補者と基礎的な日本語会話練習会。

⑤大阪日本語教育センター・留学生とのZOOM交流活動

- ・名 称 : 「日本人との会話練習」交流会
- ・活 動 日 : 毎月最終土曜日 13:30~14:30
2022年8月27日~2023年2月18日 計6回
各回 日本人メンバー5~10名、留学生6~9名
- ・交流内容 : 全体交流、グループに分かれての交流を計1時間行なう。日本に来てからの疑問や今後の進路、生活の知恵等々

4、広報部 活動報告

1) 広報誌の発行

- ・ 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」40号(総会特集)=2022年07月(年1回)発行しました。
- ・ 高大校友会・PRコーナーに配架、SAネット大阪のチラシ等PR活用に努めました。

2) ホームページの推進

- ・ SAネット大阪事業部主催のイベントコロナ禍で、中止有るも都度更新を行いました。

3) 関連団体主催のイベントに参加予定も中止続く。

- ・ 関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」総て中止になりました。

4) 本部経費削減

- ・郵送料の圧縮推進の為、ネット大阪理事、高大役員、府 SA 連協理事に手配りを行いました。
- ・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。
(ネット大阪ニュース 40 号=ニランジャンナセワサンガ=10,000)

5) 新規事業で社会貢献・・・別紙冊子添付

- ①「NPO おもちゃ学校（大阪校）— 子供健全育成指導者養成講座」（毎月第三火曜日）
 - ・3 期生開講式記念講演：高大「子ども事業部」音田事業部長
 - ・長澤校長挨拶、スタッフの自己紹介、受講生の自己紹介に続き本日の授業に入る。
 - ・3 期生閉校式 修了証書授与
- ②夏休み子ども工作教室（ゲームにないものづくりの魅力）
- ③障がい者と、高齢者のスポーツ交流（障がい者スポーツボッチャ）
- ④大阪万博共創チャレンジ「幸せの星」プロジェクト。
- ⑤海外で日本語を学ぶ若者との国際交流（オンライン交流）

第 2 号議案 第 17 期活動計算書 報告と監査報告

- I 第 17 期 活動計算書 報告・・・別紙「決算報告書」を参照願います。
- II 第 17 期 監査報告・・・・・・別紙「監査報告書」を参照願います。

第3号議案 役員選任の件

18期

現在の役員	新役員候補（案）
理事（理事長） 村松 秀明	理事（理事長） 村松 秀明（再任）
理事（副理事長）大川 正彦	理事（副理事長）大川 正彦（再任）
理事（副理事長）二葉登代子	理事（副理事長）二葉登代子（再任）
理事 武内 信憲	理事 武内 信憲（再任）
理事 島田 道子	理事 島田 道子（再任）
理事 森川 加也	理事 森川 加也（再任）
理事 渡邊 耕平	理事 渡邊 耕平（再任）
理事 長澤 慎治	理事 長澤 慎治（再任）
理事 古川 雅一	理事 小林 英行（新任）
監事 新鞍 清彦	監事 手塚 之博（新任）

・任期満了 古川 雅一 新鞍 清彦

第4号議案 第18期 事業計画

I 第18期 総括事業方針

コロナの影響が最小限になってきたところで当法人の理念「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して支え合う多文化共生社会の実現を目指す」という事を再度掘り下げて、それぞれの活動を進めます。

国際交流事業部は外国人との交流だけに留まらず、様々な価値観を持った世代間の交流や、ハンディキャップを持った人との交流を行う事で活動の幅を広げます。又SA吹田の国際交流部や読売新聞の国際交流部ともコラボ活動を展開していきます。

おもしろ算数事業部は認知症対策も前面に出し健康管理士会とのコラボ活動も実施していきます。

伝承おもちゃ教室事業部はおもちゃ学校の修了生の加入を機に活動の幅を広げて、できる限り多くの会員さんが活動できるように、イベントや講習会など多くの機会を作っていきます。

万博共創プロジェクトは2年目を迎え、SA連協とのコラボで「幸せの星」の制作を一層進めていきプレゼント活動も他団体との連携で進めていきます。作った方から訪日観光客に直接手渡せる場面を作っていきます。

おもちゃ学校は4期目を迎えますが期間を半年間とし、その中で如何に多くの方が修了後活動に入って貰えるかという視点で講座を運営していきます。

II 事業部 活動方針

1、伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動計画

- ① 四天王寺「わか市」四天王寺境内で原則月1回第1日曜日（令和5年度 9回）に催される「わか市」は、市民の手作りの手芸、日用品、雑貨等を展示・販売するという「市」で、多いときは150店近く出店、展示されている。品物を物色する参詣客、観光客等が気軽に見て廻り選べる、雰囲気定着している。

私たちの「おもちゃづくり」は子どもたちからシニアまで簡単に作れて遊べるので、足を止め、楽しんでいかれる方が多く人気があります。今年度は 何よりコロナ感染症の不安が少なくなり、「市」が定期的に開催されることを願っています。

- ② 「おもちゃづくり教室」

奇数月1回第3火曜日（年6回）に開催している「おもちゃづくり教室」は平成17年から定期的に始めたこの「おもちゃづくり教室」も100回が間近になってきました。日本古来より伝承されてきたおもちゃを、材料・工程などを工夫し改良してきた先輩たち中心に、「教室」で指導してきました。

今では多くの方が更にアレンジ、工夫して独自のスタイルで各々の地域で活動されており、「教室」の果たした役割も少なからずあったと思います。今年度も従来の路線を継承しつつ、新しい目線で「教室」の運営を図りたいと考えています。また多数のおもちゃ学校修了生が、参加されて若い世代に継承されつつあることが感じられ、期待する所です。

- ③ 「おもちゃ教室」代表者代行、木下 政子氏が就任

④ NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への「おもちゃづくり」指導。

今年度も、講師を委嘱されました。事前の打ち合わせを綿密に行い受講生全員に「作って遊ぶ」楽しさを味わって欲しい、それを地域との交流に役立てて欲しいと願っています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動計画

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。

参加していただくと、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の4本柱

【食生活の改善】 【頭（脳）のトレーニング】 【運動習慣を付ける】 【質の良い睡眠】
の内の一つの役割【脳のトレーニング】を担うものと理解して頂けるでしょう。

また、小学校のいきいき教室でも高い評価を得て、小学生相手の活動も広がってきています。

以上で、当初の狙い「子どもには、考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図り、認知症予防を図られる」と考えています。

その上に、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。

今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

3. 国際交流事業部 活動計画

2020年度にコロナ禍の中での活動として始めたオンライン国際交流活動を今期も継続致します。国際文化交流科の修了生を中心に SA 連協の SA 吹田・国際交流部とのコラボを含めてミャンマーとの交流は継続します。トルコアンカラ・イスタンブール ISMEK (イスタンブール職業訓練コース) との交流が暫く途切れているので秋からの再会を目指して準備を進めます。

大阪府高齢者大学校・国際文化交流科や英語クラス、IT関連のクラス、似顔絵を楽しく科等の修了生に対する修了後活動の提案をアドバイスを行なって行き、一人でも多くの仲間作りに努めたい。

また日本語教育センターやYOLO JAPAN等、大阪において海外からの外国人に対応している団体・企業との連携を深めていき、外国人と共生社会の実現に貢献できるようにしていきたい。

具体的活動

- ・ミャンマー「日本語で話そう」交流会
第11クール～第13 1クール 10回 合計30回
- ・トルコ「日本語で話そう」交流会
1クール 10回
- ・交流相手国候補 ベトナム・インドネシア
- ・日本語教育センターの留学生との交流 (ミャンマー18人)
- ・YOLO JAPANとのコラボ活動 外国人食堂等
- ・大阪市教育会館内の福祉団体との交流活動 ぼっちゃ交流会。

4. 広報部 活動計画

方針：広報誌の発行と対外啓発活動（チラシ、ホームページ）を行い、NPO シルバーアドバイザーネットワーク大阪のフアンづくり又新規事業による収支の良化、新人導入による世代交代を図る事等を支援継続します。

1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、41号（総会特集）令和5年7月の発行を目指します。
 - ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
 - ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

- ①高大校友会のPRコーナー（3F）のラックにも継続して「PRチラシ」等を配架し又関連団体行事の「コーダイフェスタ」「コーダイジョイフルゲーム」大阪区民、大阪府民カレッジ修了式等に事務局と共同で参加し、PRブースで資料でのSA ネット大阪のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ①SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックス」の充実で、定期的なホットニュースを発信いたします。
- ②「SA ネット大阪ニュース」41号＝令和5年7月（総会特集）をアップします。
- ③関連団体のNPO 大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。

4) NPO 新規事業支援、広報

- ①NPO おもちゃ学校（大阪校）＝ 子供健全育成指導者養成講座
 - ・令和5年4月4期受講生 31名
- ②夏休み子ども工作教室・令和5年7月募集
- ③万博共創チャレンジ「幸せの星」継続
- ④オンライン国際交流継続

※新規事業＝「人、物、金」へのチャレンジ

第5号議案 第18期活動計算書予算（案）

*第18期活動計算書予算（案）・・・次ページ「8期活動計算書予算書」参照願います。

第5号議案

第18期（2023年度）活動予算

2023年4月1日～2024年3月末

（単位：円）

科 目	2022年度実績	予算案	備考
I 収入の部			
1 会費収入			
(1) 正会員費	63,000	63,000	正会員21名
(2) 賛助会員費	34,000	34,000	賛助会員34名
2 受取寄付金	133,300	30,000	
3 受取助成金等			
助成金収入	1,035,386	670,311	子ども夢基金他
4 事業収益			
物品販売収益	44,700	10,000	
行事参加会費収益	403,800	350,300	
謝金	222,382	145,000	
他事業収入	16,000	10,000	
5 その他の収入		50,000	
当期収入 合計（A）	1,952,568	1,362,611	
前期繰越収支差額	857,811	986,508	
収入 合計（B）	2,810,379	2,349,119	
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 人件費	90,000	0	
(2) 活動手当	228,000	120,000	
(3) 諸謝金	389,000	297,000	
(4) 印刷製本費（事業）	63,065	63,000	
(5) 会議費（事業）		4,000	
(6) 会場費（事業）	273,830	193,000	
(7) 旅費交通費（事業）	172,237	175,000	
(8) 通信運搬費（事業）	1,050	4,000	
(9) 材料費（事業）	245,269	207,600	
(10) 消耗品費（事業）	156,225	25,000	
(11) 租税公課（事業）	47,707	41,700	
(12) 支払い手数料（事業）	43,595	17,311	
(13) 雑費（事業）	4,647	20,500	
2 管理費			
(1) 人件費			
(2) 印刷製本費	33,029	30,000	
(3) 会議費	14,950	15,000	
(4) 会場費			
(5) 通信運搬費	9,616	10,000	
(6) 消耗品費	14,558	10,000	
(7) 諸会費	10,000	10,000	
(8) 支払い手数料	15,093	15,000	
(9) 管理諸費	12,000	12,000	
(10) 雑費			
3 予備費		50,000	
当期支出 合計（C）	1,823,871	1,320,111	
当期収支差額（A－C）	128,697	42,500	
次期繰越収支差額（B－C）	986,508	1,029,008	